

# 社会資本総合整備計画

だい き とみ おか し き ち く  
第2期富岡志岐地区都市再生整備計画

平成26年2月3日

熊本県 れいほく まち 苓北町

# 都市再生整備計画(第2回)変更

だい き とみおか し き  
第2期富岡志岐地区

くまもと れいほくまち  
熊本県 苓北町

平成26年2月

-様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。





# 都市再生整備計画の整備方針等

## 計画区域の整備方針

・整備方針1 歴史街道周辺施設の整備  
富岡城から始まる富岡往還沿いにある文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備を行う。

・整備方針2 歴史のまちづくり啓発活動  
まちの魅力について町民の再認識を促し、歴史のまちづくり運動への啓発を図る。

## 方針に合致する主要な事業

道路(基幹/町道城下草場線整備事業)、地域生活基盤施設(基幹/富岡城跡(築地堀)・トルレス神父の記念広場・大手門・出丸)・アダム荒川の記念広場、高質空間形成施設(基幹/百間土手(無電柱化))、高次都市施設(歴史資料館)、地域創造支援事業(百間土手(石垣・築地堀)、角櫓)

事業活用調査(事後評価調査)、まちづくり活動推進事業(提案/茶北セミナー(歴史講座))・歴史研修会(関連事業)・海道博(関連事業)

## その他

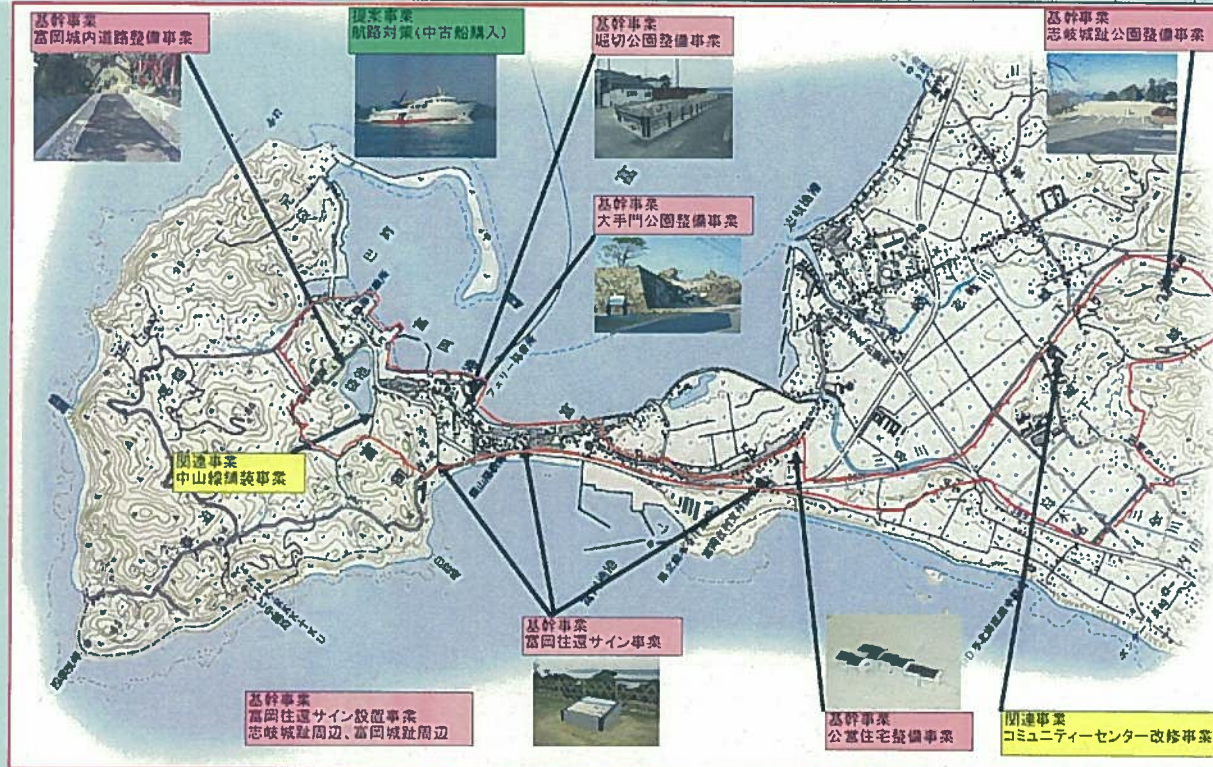
○交付期間中の計画管理

交付期間中においては、各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を上げるために観光協会やボランティアガイド協会等、地域団体と連携して毎年、事業成果の評価や事業の進め方の改善を行うための協議を行う。また、事業の進捗状況については茶北町のホームページを始めとする広報媒体を利用し、情報公開を行う。

## ○第1期富岡志岐地区都市再生整備計画の成果概要(平成17年～平成21年)

富岡志岐地区(熊本県茶北町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標 本整備計画は、町の総合計画のまちづくり目標である「生き生きと暮らせる町」に基づき豊かな自然環境の中で歩道・芝の面並み都市であったという歴史性を生かした観光振興を図ることや交流人口の増加を図り、もって若い人達にも定住に誘う魅力あふれる町を創ることを目標とする。	高齢居住水準を満足する公営住宅	単位: %	14	H16 116	100	H21 121
目標1 魅力ある住環境の公営住宅を整備することで、若年層の定住性を図り、また、町内外の人々を楽しめる交流施設を充実する。	新築交流人口の増加	単位: 人	163	H16 116	300	H21 320
目標2 富岡城から始まる歴史街道である富岡往還周辺を移住することで美しい町並みをつくる。	長崎側からの入り込み客数	単位: 人	13,400	H15 115	20,000	H21 14,989
目標3 天守と長崎とを結ぶ海上交通を強化し、観光振興と住民生活の足を確保する。	まちづくりイベント等の交流人口	単位: 人	6,000	H16 116	10,000	H21 11,000



まちの課題の変化	○住宅建設計画法の規定により計画された最低基準の住戸専用面積は公営住宅の建築により大幅に改善され、若い世帯の人口も増えた。 ○新が中古船を購入することにより、天草長崎航路の存続はできたが、追加高橋による運賃の上げや高速道路の休日料金化等により利用者数が伸び悩んでいる。 ○富岡城跡周辺外圍に富岡往還サインの設置により観光女性団体ガイド協会が発足し、歴史性を生かした観光振興が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	○歴史街道の整備を継続して道の、コミュニケーションの改善やまちづくりイベントの内容を充実することにより町民からの参加を促やし地域間交流の拡大を図る。 ○天守と長崎とを結ぶフェリー航路の復旧と共に、フェリー指定管理者と協力し、旅行業者へのPRを行い、長崎からの入り込み客の誘致を行う。







都市再生整備計画の区域

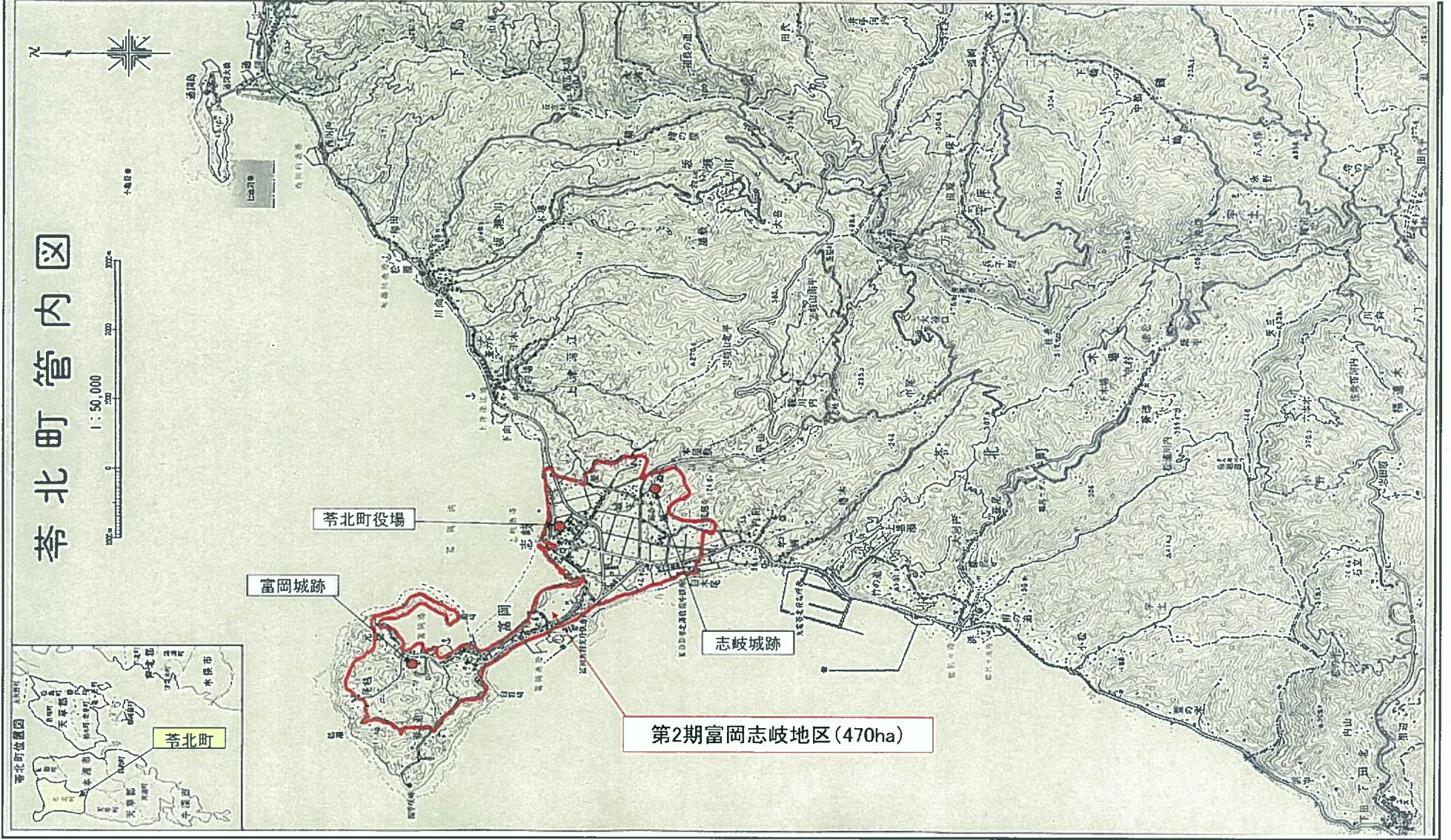
第2期富岡志岐地区(熊本県苓北町)

面積

470 ha

区域

苓北町富岡の一部、苓北町志岐の一部





第2期富岡志岐地区(熊本県苓北町) 整備方針概要図

目標	富岡城から始まる歴史街道である富岡往還沿線にある文化財や歴史的観光交流施設等の一体的な整備を行うことで、観光客と地域住民との交流を促すとともに、町民に対してまちの魅力・文化の再認識を促し、天領天草の拠点都市であった苓北町の歴史を活かしたまちづくりを推進する。	代表的な指標	富岡ビジターセンターの来館者数 (人/年)	33,200 (22年度) → 35,000 (27年度)
			ボランティアガイド協会の会員数 (人/年)	23 (22年度) → 30 (27年度)

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

